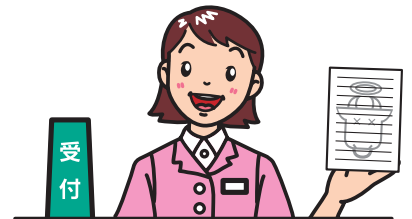


☆☆☆死亡牛の届出始まる☆☆☆

・・・**確実な届出を!!**・・・



平成14年7月4日より、「BSE対策特別措置法」に基づく死亡牛（24ヶ月齢以上）の届出が義務化されました。

これまでのところ推定された頭数を超える届出があり、関係各位のご理解が浸透しているものと思われます。

平成15年度からは届出牛のBSE検査が始まります。

今後とも迅速かつ確実な届出をお願い致します。

○死亡牛の届出状況（水沢家保管内、平成14年7月4日～9月3日）

届出頭数				推定頭数 (年)
ホルスタイン種	黒毛和種	その他	計	
171	46	5	222	899

注）推定頭数は昨年度の家畜共済死廃頭数及び総飼養頭数の動向から算定した。

届出先は **水沢家畜保健衛生所**

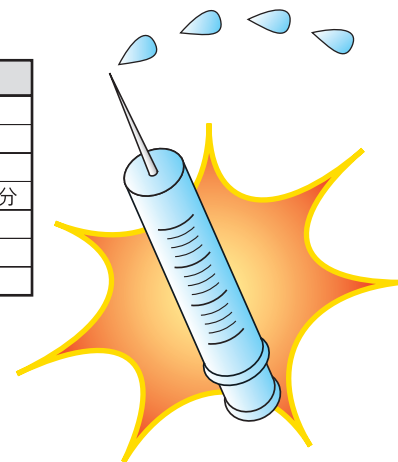
☆☆☆じわじわ、ニューカッスル病の発生☆☆☆

・・・**ワクチンの徹底しかありません**・・・

ニューカッスル病は鶏の急性伝染病で、発生時には感染力の強さ及び死亡率の高さから大きな経済的被害が生じます。現在はほとんどの農場でワクチンが普及しており、周辺農場を巻き込む大規模な発生は少なくなりました。

しかしながら、ワクチン未接種又は誤ったワクチンプログラムによる本病の発生が依然として散発傾向にあり、鶏舎環境周辺に本病ウイルスが存在していることを証明しています。プログラムの再確認と接種の徹底が必要です。

発生場所	発生年月	農業概要	主な発生被害
宮城県	14.2	ブロイラー 23千羽規模	328羽死亡 約4千羽殺処分
青森県	14.4	採卵鶏 455羽飼養	119羽死亡 他全羽殺処分
広島県	14.4	レース鳩 81羽飼養	幼ハト19羽を殺処分
福島県	14.5	ブロイラー 20千羽規模	195羽死亡 約10千羽殺処分
岡山県	14.5	採卵鶏 94千羽規模	約20千羽死亡 他全羽殺処分
千葉県	14.7	キジ 3千羽規模	育雛群死亡多発
岡山県	14.9	ブロイラー 12千羽規模	595羽死亡 約2千羽殺処分



トピックス - E型肝炎ウイルスについて -

過日より、国内におけるE型肝炎患者の発見と、動物由来感染の可能性について報道がなされています。これについての各種知見を調べてみました。偏った知識による無用の混乱が生じないように、冷静な対応をお願いします。

1) E型肝炎について

- (1) 原因 未分類の小型球形ウイルス
- (2) 症状 一過性の急性肝炎。慢性化しない。妊婦で劇症化しやすく、この場合10～20%の致命率。潜伏期間は15～50日。
- (3) 感染経路 経口感染
- (4) 感染源 患者の糞便に汚染された飲料水 動物由来?

2) 動物との関係

ブタ、ウシ、ヤギ、齧歯類、イヌ等でウイルス抗体陽性例あり。しかし、ヒトへの感染はこれまで認められず。最近、ブタからのウイルス検出が数例。遺伝子型も近似と報告。

3) ブタ肉の安全性に関する厚生労働省の見解

「生後2～3ヶ月のブタの血清からウイルスが検出されたとの研究結果が報告されているが、ウイルスは、その後、ブタの成育とともに体内から消失し、と畜処理される生後6ヶ月程度のブタからは検出されないため、ブタ肉の安全性には特段問題ないと考え。」



家畜保健衛生所職員となる第一歩は農家現場を知ることから始まります。本年も水沢家畜保健衛生所新採用職員2名がそれぞれ受入農家のご厚意により2週間にわたる貴重な研修を体験しました。

○ 井戸 徳子 (衛生課中小家畜衛生係所属)

研修先 一関市 石川和宣農場 (養豚+食肉加工販売+畑作)

主な研修内容

- ・豚の栄養学、飼料の配合及び給与
- ・種付け、子豚の切歯、断尾、去勢
- ・豚舎の清掃、糞尿処理
- ・自農場生産豚を原料とした食肉加工とその流通及び販売

感想

今回の研修では、養豚の基礎知識から食肉流通加工さらには畑仕事まで沢山のことを教わりました。今後畜産に関わる仕事を続けるにあたり、もっと多くのことを勉強して様々な視点でものごとを捉えることができるよう頑張っていきたいと思えます。

○ 大森 さくら (防疫課大家畜防疫係所属)

研修先 花巻市 山里 昇農場 (酪農+水稲+畑作)

主な研修内容

- ・乳牛の飼育管理と飼料の給与
- ・牛舎の清掃 (除糞、飼槽の掃除、牛床・通路の清掃など)
- ・搾乳手順及び関連機器の管理方法
- ・畑仕事 (野菜の収穫、種まき)

感想

2週間という短い期間でしたが酪農家の生活を実体験し、また酪農家の皆さんの生の声を聞くことができたのは、非農家出身の私にとって貴重な体験であり、大変勉強になりました。この経験を業務に活かし、お世話になった方々に恩返しができるようこれからも努力していきたいと思います。



編集・発行

水沢家畜保健衛生所
岩手県南家畜衛生推進協議会

岩手県水沢市佐倉河字東館4-1-1

TEL 0197-23-3531 FAX 0197-23-3593

TEL 0197-24-5532 FAX 0197-23-6988